

NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地における建物等解体工事及び土壌汚染対策工事の進捗状況について

※ この資料は、NECプラットフォームズ株式会社実施している当該工事について、同社から提供された情報を基に市で整理・作成したものです。

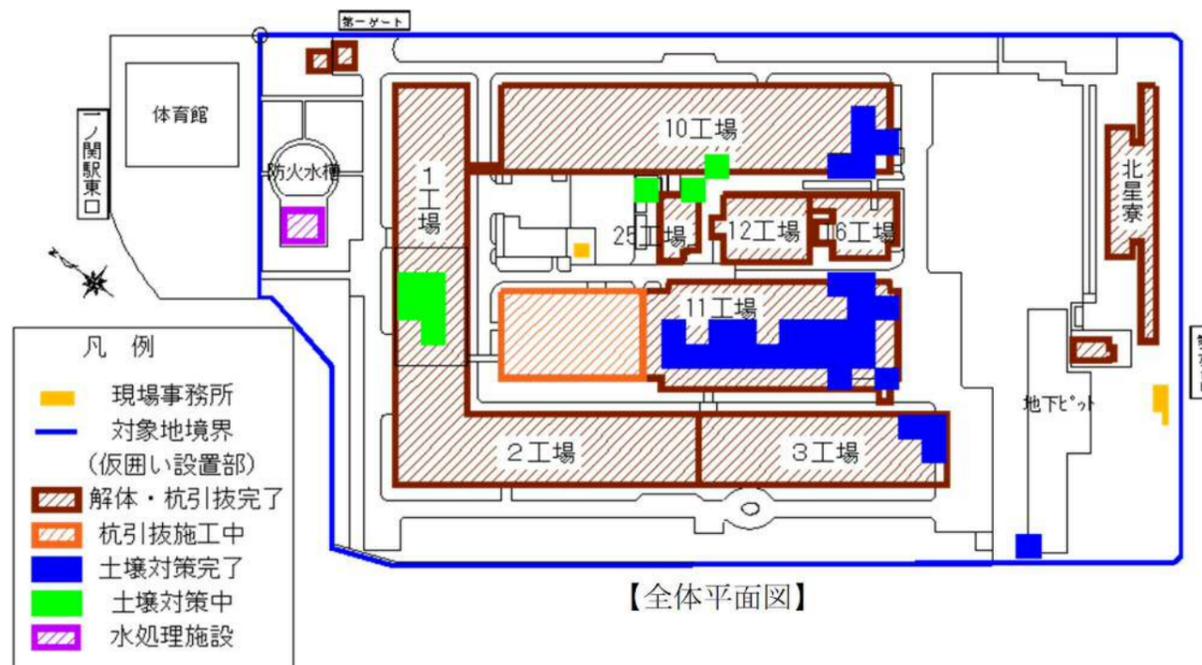
1 工事スケジュールについて（令和5年11月時点）

- (1) 建物等解体工事：令和4年12月～令和5年11月（※当初計画どおり）
- (2) 土壌汚染対策工事：令和5年1月～令和6年6月（ 同上 ）
- (3) モニタリング期間：令和6年6月～令和8年6月（ 同上 ）
- (4) 外構等解体工事：令和7年12月～令和8年3月（※当初計画より3か月前倒しで実施予定）

2 工事の進捗状況について（令和5年11月8日時点）

- (1) 建物の上屋解体は完了。基礎解体は11工場の一部を除き完了（下図茶線部分）。引き続き、11月末まで11工場（下図橙線部分）の基礎杭の引抜きを実施。
- (2) 重金属類による汚染土壌（下図青色部分）について、9月までに場外搬出が全て完了し、県外の汚染土壌処理施設において適切な処理が終わったことを確認したことから、岩手県に対して工事完了報告書を提出。
- (3) 揮発性有機化合物（VOC）類による汚染区画（下図緑色部分）について、浅部の土壌を浄化する工事（ホットソイル処理）が完了。なお、施工中に実施していた大気モニタリングについても異常なく終了。

深部のVOC類による汚染土壌については、新たに小径の井戸を設置し、地盤中にもともと生息している微生物に栄養剤を供給して活性化させ、汚染物質を分解する処理作業を11月7日に開始。



【基礎杭引抜き状況】

【ホットソイル処理の掘削状況】

【栄養剤注入用井戸の設置状況】

3 今後の工事予定について

- (1) 11月末をもって解体1期工事（建物の解体）が完了予定。なお、解体に使用した大型重機は、12月上旬頃に搬出予定。（作業に伴い大型の運搬車両が行き交うため、事故防止のため運転手への指導を徹底する。）
- (2) 深部のVOC類による汚染土壌（左下図緑色部分）の浄化作業は、令和6年6月頃まで継続予定。
- (3) 工事による粉塵抑制のために設置していた高さ4メートルの粉塵抑制壁（シート及び当該シート上部にミスト発生機を取り付けてミスト噴霧による散水）について、建物の解体工事が完了したことに伴い撤去予定。

4 外構等解体工事（解体2期工事）について

- (1) 令和7年12月頃から、構内道路や駐車場の舗装の解体を開始する予定。（当初、令和8年3月頃からの開始を予定していたが、工期内完了を確実にするため、3か月前倒しして開始する。）
- (2) 令和6年7月から解体2期工事の開始までの間は一時休工となるが、汚染土壌に係る浄化工事の効果を確認するため、地下水のモニタリングを実施する。このモニタリングや敷地の保安全管理のため、NECプラットフォームズ株式会社及び関係会社の作業員が適宜現場に出入りする。